

ECOプロジェクト 通信



2009 . 9

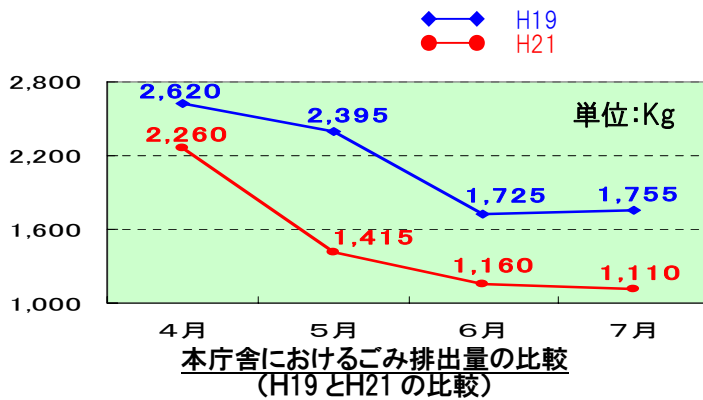
Vol. 2 『ごみの減量化』

「環境」に関する興味・関心が以前にも増して高まっていることなどもあり、1月の自席ごみ箱の撤去から始まったごみ減量に対する取り組みが多くのメディアから注目されています。

本庁舎のごみ排出量は減っているものの、実際に出されたごみを見てみると、まだまだ取り組みが不十分で見直す必要があります。

ごみ減量

本庁舎のごみ排出量が“約3割”減っています！



左のグラフのとおり、4月以降、本庁舎から排出されるごみは、H19 に比べて大幅に減少しています。

今の状況が続けば、プロジェクトに掲げた目標を達成できる見通しです。

可燃ごみの排出状況

地下コンテナ室に出された可燃ごみ1袋(約1.9kg)を調べてみました。



- ①お菓子の袋、ペットボトルのラベルやレジ袋などの「プラ容器」
→ 27.5% (520g)

《減らす工夫》

売店で購入したものは売店のごみ箱へ
自宅や外部から持ち込んだ物は持ち帰りましょう。

- ②メモ用紙や輪ゴムの入っていた空き箱などの「雑古紙」
→ 41.4% (785g)

《減らす工夫》

小さな紙もリサイクルできますので、使用済み封筒などを活用して、古紙の回収に出しましょう。



残りはティッシュやラベルシール、生ごみなどのリサイクルできないものでした。31.1% (590g)

分別すれば、リサイクルできるものが、まだまだ含まれています。
もう一度、各課で分別の徹底とリサイクルについて見直してみてください。